

始筆

No.1

令和6年6月21日

京都市小学校書写教育研究会

今年度、京都市小学校書写教育研究会では、カリキュラム・マネジメントの視点から、『書字力』の定着を図るために、児童自ら自分の書字を見つめられるよう、ICT機器等の有効活用を意識した「文字を分析して見る力」の育成をめざして研究を進めていきます。機関紙「始筆」をヒントにして、児童の日常に生かす『書字力』をいっしょに育てていただけたらと思います。ご指導・ご協力をよろしくお願います。

今回の「始筆」では、左記の三点についてお伝えします。

◎京都市児童硬筆書写作品展について

(硬筆学習指導の観点と評価)

◎「やってみよう!各教科×書写」カリキュラム・マネジメント

◎日常の毛筆書写(小筆)の洗い方

【京都市児童硬筆書写作品展について】

「第五十九回京都市児童硬筆書写作品展」の要項を六月上旬に各校に配布しました。より有意義な取組となるよう、ぜひ、京都市小学校書写教育研究会のホームページ内「硬筆学習指導のポイント動画」もご覧ください。動画では、指導の観点や評価の仕方を分かりやすく解説しています。

《一年生》・ひらがなの学習

・字形、点画の終わり(終筆)の「とめ」「や」「はね」

★学年は「いちねん」とひらがなで書いていただいてもかまいません。

《二年生》・カタカナの学習

・画の方向(ソ・シンの二画目、シ・ツの三画目)、
・画の書き方(ヒの一画目など)

《三年生》文字の大きさ、行の中心をそろえる。

・字形(「子」の一画目と二画目の接筆、「水」の二画目折れの余白の有無)

《四・五・六年生》文字の大きさ・中心、配列

・漢字を大きめ、ひらがなは小さめに書く。
・一文字一文字の文字の中心を意識して書く。
・行の中心を確かめる。
・接筆(「口」「ロ」という漢字の場合::一画目が三画目よりも下方向に出る、二画目のための部分より三画目の横画が出るなど)
・字形(「な」の場合::三画目が、一画目の横画よりも低い位置に書かれているなど)

☆教職員研修支援 SMART PORTAL ↓ 京都市総合教育センター

↓ 教育研究団体 ↓ 小学校 ↓ 京都市小学校書写教育研究会

<https://skc-cms.edu.city.kyoto.jp/sogokyoiku/>

※本ホームページ内には、他にも、硬筆学習指導で有効な道具等も紹介しています。

【「やってみよう!各教科×書写」カリキュラム・マネジメント】

各校でも、単元関連配列表を活用した学習が進められていることと思います。書写教育研究会でも、今後、書写と他教科との学習と関連付けた単元関連配列表を作成していきます。今年度中の機関紙「始筆」や研究会のホームページにも掲載予定ですので、チェックしてみてください。

〈例〉

一年生 国語科

「てがみでしらせよう」

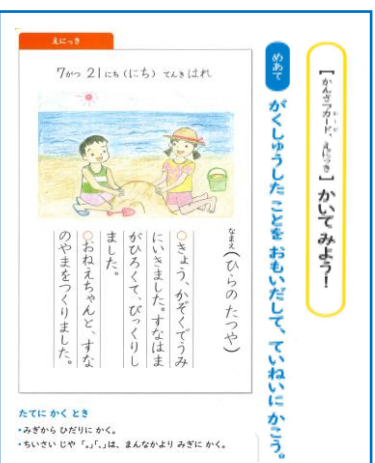
丁寧な言葉を使って、敬体で書かれた文章に慣れ、身近な人に手紙を書く単元



一年生 国語科書写

【かんざつカード】かいてみよう!

縦書きは右の行から書く・拗音の小さい字は右寄りに書く・横書きは左から右へ書く・拗音の小さい字は下寄りに書くことを学習する単元



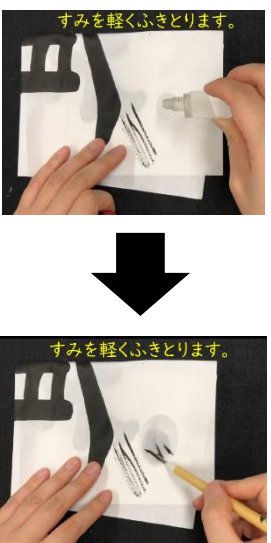
右の「てがみでしらせよう」と【かんざつカード】をかいてみよう!」の単元を関連させることで、文章を書く時のきまりに慣れることができ、一文字一文字を丁寧に書く学習もできます。

★昨年度の「始筆」でも紹介しましたが、ICTをツールとして有効に活用していくことが必要となってきます。互いの書写作品を批評するときのロイノート活用などをしてくださっている先生方もおられます。ぜひ、試してみてください。

【日常の毛筆書写(小筆)の洗い方】

三〜六年生の書写を担当されている先生方、小筆を使い終わった後、どのように処理されていますか。書写教育研究会のホームページでも紹介している、正しい小筆の洗い方を紹介します。

- ① スポイトに透明の水を入れます。
- ② 書き損じの半紙の白い部分に、スポイトの水を二〜三滴落とします。



- ③ 小筆の筆先で、透明の水を引っ張るようにしてふき取ります。
- ④ 半紙の乾いた部分で、筆先の水気をとります。こんなに簡単なので、ぜひやってみてくださいね。

この機関紙「始筆」の書体は、教科書体です。児童が目にする文字は、できるだけ正しい書体にしましょう。